

議会事務局の経営方針の総括

1. 事務局の方針・重点課題の総括

●事務局の方針

- ・ 地方自治体における二元代表制の一元を担う議会が、地方分権の時代を迎え、その機能を十分に発揮し自治体事務の立案、決定、執行、評価を通して、民主主義の発展と市民福祉の向上の責務を果たすため、そのサポート機能の充実に努める。
- ・ 市民から付託を受けた議員・議会が、市民と同じ目線に立った職責を果たすため、さらなる広報、公聴機能の充実に努める。

●事務局の経営資源

【議会事務局】

- ・ 職員数（平成 24 年 3 月 31 日現在）
事務局長 1 人 議事調査課 5 人
議会事務局職員計 6 人
（うち非常勤嘱託職員・非常勤任用職員・再任用職員・任期付職員（常勤・短時間） 0 人）
職員比率（正規職員）1.4 %（議会事務局 6 人/市職員 420 人）
- ・ 決算額（平成 23 年度）
一般会計 281,026 千円

●事務局の重点課題

- ・ 情報収集機能の拡充
議員、議会活動の一層の活性化を支援するため、タイムリーな情報収集、法制調査など、環境整備の拡充を図る。
- ・ 議員、議会活動の広報・公聴機能の充実
市民から関心がもたれる、また親しみの持てる議会活動を目指すため、議会情報伝達機能のさらなる充実に努める。

【総括】

議会活動のより円滑な運営のため、関係機関からの情報収集に努めるなどのサポートを行った。また、市民に対して開かれた議会を目指し制定された宗像市議会基本条例に基づき、議会報告会を 13 地区で開催した。

インターネット回線を利用した ASP 方式による議会放映システムにより、本会議及び各委員会のライブ映像及び録画映像の放映を行った。

議会改革調査特別委員会を設置し、政務調査費、費用弁償、行政視察研修、議員報酬、議員定数について調査・検討を行い、12 月議会で報告を行った。

2. 事務局の目標の達成状況

(1)市民のための行政サービスの充実

- ・平成 22 年度に制定した「議会基本条例」にのっとり、議会報告会またそれに伴う議会政策討論会を通じて、市民が議会・議員に求める諸課題の把握を行う。
- ・住民自治の根幹をなす議会が市民により開かれたものとなるため、情報発信のさらなる充実を行う。また、議会傍聴者数の前年比 10%増加を狙う。

【達成状況】

- ・議会基本条例に基づく議会報告会を平成 23 年 10 月に市内 13 会場で開催した。また、その運営等をサポートした。(議会報告会参加者 219 人)
- ・議会が発信する情報伝達機能の充実として、平成 22 年第 2 回定例会からインターネット回線を利用した ASP 方式による議会放映を行い、議会傍聴者数 340 人(目標 400 人)、公共施設傍聴者数 1,603 人(目標 1,300 人)、議会の関心度(①+②+③) 7,530 件(目標 9,000 人)という結果で、前年度の 7,651 件と比較すると若干下回っている。

①ライブ映像閲覧者数	2,802 件
②VOD 映像閲覧者数	2,898 件
③会議録検索システム(アクセス件数)	1,830 件